



2026年6月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社

コード番号 6571 URL https://www.qbnet.jp

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 北野 泰男

問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 壁谷 勝吉 (TEL) 03-6433-7723

定時株主総会開催予定日 2026年9月25日 配当支払開始予定日 2026年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2026年9月24日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期の連結業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期	27,154	6.3	1,493	△11.4	1,255	△15.1	803	△21.4	803	△21.4	1,044	24.8
2025年6月期	25,543	3.2	1,685	△20.3	1,478	△24.8	1,022	△21.4	1,022	△21.4	836	△44.8

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円	銭	円	銭	％	％	％	％	円	銭
2026年6月期	60.22		59.53		5.3		3.6		5.5	
2025年6月期	77.84		76.44		7.1		4.4		6.6	

（参考）持分法による投資損益 2026年6月期 - 百万円 2025年6月期 - 百万円

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	％	％	円	銭
2026年6月期	35,719		15,450		15,450		43.3		1,141.40	
2025年6月期	34,211		14,683		14,683		42.9		1,113.90	

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2026年6月期	5,105		△1,745		△4,135		4,660	
2025年6月期	4,299		△1,306		△2,263		5,271	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	親会社所有者 帰属持分配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	％	％
2025年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00	461	45.0	3.2
2026年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00	541	66.4	3.5
2027年6月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00		57.2	

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	28,950	6.6	1,700	13.8	1,450	15.5	950	18.3	950	18.3	69.90	

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期	13,537,000株	2025年6月期	13,182,000株
2026年6月期	158株	2025年6月期	157株
2026年6月期	13,338,499株	2025年6月期	13,137,930株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

また、当社は2026年8月17日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催予定であります。決算説明会の内容については、後日、当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書	6
(3) 連結包括利益計算書	7
(4) 連結持分変動計算書	8
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

（取り組みに関する説明）

当連結会計年度（2025年7月1日～2026年6月30日）は、雇用及び所得環境の改善を背景に消費活動は緩やかに回復を続けております。一方で、依然として続く原材料価格の高騰や深刻な人手不足に伴う労務費の上昇に加え、イラン情勢の行方に左右される原油調達リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは、2025年6月期を初年度とする5か年を対象とした中期経営計画「NEXUS」を策定し、人材投資とDX投資を促進することで、世界中で「いつもの」をどこでも実現できるサービスの提供ができるよう事業活動に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上収益は27,154百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は1,493百万円（同11.4%減）、税引前利益は1,255百万円（同15.1%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益は803百万円（同21.4%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

<国内事業>

国内事業では、人材採用は堅調に推移しており、出店は計画通りとなりました。研修期間を経た人財の店舗配属も計画を上回る水準となっております。割引制度「ツキイチキャンペーン」を全年齢に拡大したこと等により既存店も伸長し、来店客数は前年同期を上回る水準となりました。

この結果、当セグメントの売上収益は21,675百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は1,437百万円（同6.0%減）となりました。

<海外事業>

海外事業では、台湾において積極的な出店展開が功を奏し、売上が伸長する等、着実な成長が見られました。シンガポールにおいても来店客数が回復傾向を維持し、厳しい競争環境の中で一定の成果を上げております。一方、香港・米国では価格改定を実施したものの、失客からの回復に時間を要しております。カナダ、ベトナム及びマレーシアについては、前期に築いた事業基盤のもと、着実な運営体制の構築を進めております。

この結果、当セグメントの売上収益は5,494百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は56百万円（同64.1%減）となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上収益	セグメント利益	売上収益	セグメント利益
国内事業	20,641	1,529	21,675	1,437
海外事業	4,908	156	5,494	56

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ607百万円減少し、6,276百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少610百万円、その他の流動資産の増加78百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,115百万円増加し、29,442百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加514百万円、使用権資産の増加1,150百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ1,507百万円増加し、35,719百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ649百万円増加し、6,784百万円となりました。これは主として、リース負債の増加474百万円、その他の流動負債の増加179百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、13,483百万円となりました。これは主として、借入金の減少692百万円、リース負債の増加666百万円、引当金の増加129百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ740百万円増加し、20,268百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ767百万円増加し、15,450百万円となりました。これは主として、資本剰余金の減少352百万円、利益剰余金の増加803百万円、その他の資本の構成要素の増加208百万円等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ610百万円減少し、4,660百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、5,105百万円（前連結会計年度は4,299百万円の増加）となりました。これは主として、税引前利益1,255百万円、減価償却費及び償却費4,055百万円、金融費用265百万円等の計上に対し、利息の支払額257百万円、法人所得税の支払額384百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、1,745百万円（前連結会計年度は1,306百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,323百万円、無形資産の取得による支出218百万円、差入保証金の差入による支出272百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、4,135百万円（前連結会計年度は2,263百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出700百万円、リース負債の返済による支出3,406百万円、配当金の支払額461百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループは、2025年6月期を初年度とする5か年を対象とした新たな中期経営計画「NEXUS」を策定いたしました（以下、「本中期経営計画」という。）。この計画名には、お客様とスタイリストとの関わりを深め、さらなる顧客体験価値の向上を実現したいという思いが込められております。

本中期経営計画期間において実現したいことは、未来志向のテクノロジーを活用して、世界中でご利用いただいている年間2千万人のお客様の「いつもの」スタイルをデータ化し、さらにヘアカットサービス後の満足度や次の来店に向けたリクエストなどのフィードバックをデータで蓄積していくことで、利用すれば利用するほど「いつもの」ヘアスタイルが、「どこでも」、「だれでも」提供できる世界を創り出すことであります。

そして、世界各地にこのプロフェッショナルサービスの提供機会を広げ、長期にわたって安定的に企業価値を向上できる基盤を構築し、さらなる企業価値向上につなげていく考えであります。

当期は成長基盤づくりを行う先行投資期間でありましたが、本中期経営計画の3年目である次期（2027年6月期）は収益改善と海外事業拡大の体制構築の期間であります。

国内事業においては、当期は人財採用が計画を上回るペースで進捗し、本中期経営計画に沿った積極的な出店拡大に向けた体制を強化することができました。来期はこの人財基盤を土台として、増収増益を見込んでおります。また、本中期経営計画の重要戦略であるIT・DXの推進に関しては、会員登録・店舗検索・カットカルテなどの機能を備えたアプリを一部の店舗でテスト導入しておりましたが、顧客・スタイリストからのフィードバックを基に改修・強化を行っております。年内に順次導入店舗を増やしていき、「顧客利便性の向上」を実現してまいります。

海外事業においては、既存地域のうち台湾では台北市から南部都市への出店エリア拡大が進み、事業成長のさらなる加速が期待できる状況となっております。また、新規出店地域であるカナダ、ベトナム及びマレーシアにおいても、初期に出店した店舗からの収益により、投資の回収フェーズへ向けた前進が見られます。海外事業全体としては、これらの成長を背景に増収増益を見込んでおります。

これらを踏まえた次期の連結業績見通しは、以下のとおりであります。

	2026年6月期 (実績)	2027年6月期 (業績予想)	2029年6月期 (計画)
売上収益	271億54百万円	289億円	355億円
営業利益	14億93百万円	17億円	34億円
期末連結店舗数	767店舗	810店舗	966店舗

詳細につきましては、2026年8月13日開示予定の決算補足説明資料をご覧ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2017年6月期連結会計年度より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

（1）連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,271	4,660
営業債権及びその他の債権	1,292	1,252
その他の金融資産	18	3
棚卸資産	121	102
その他の流動資産	179	257
流動資産合計	6,884	6,276
非流動資産		
有形固定資産	1,578	2,092
使用権資産	7,138	8,288
のれん	15,430	15,430
無形資産	157	341
その他の金融資産	2,017	2,197
繰延税金資産	827	837
その他の非流動資産	177	254
非流動資産合計	27,327	29,442
資産合計	34,211	35,719
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	437	344
借入金	692	692
リース負債	2,731	3,206
未払法人所得税等	165	258
その他の金融負債	84	80
その他の流動負債	2,023	2,202
流動負債合計	6,135	6,784
非流動負債		
借入金	8,129	7,436
リース負債	4,200	4,866
その他の金融負債	54	45
繰延税金負債	30	24
引当金	963	1,092
その他の非流動負債	14	16
非流動負債合計	13,392	13,483
負債合計	19,528	20,268
資本		
資本金	1,373	1,482
資本剰余金	4,168	3,816
利益剰余金	8,755	9,559
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	385	593
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,683	15,450
資本合計	14,683	15,450
負債及び資本合計	34,211	35,719

（2）連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）	当連結会計年度 （自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）
売上収益	25,543	27,154
売上原価	△19,823	△21,300
売上総利益	5,719	5,854
その他の営業収益	25	20
販売費及び一般管理費	△4,051	△4,356
その他の営業費用	△8	△24
営業利益	1,685	1,493
金融収益	21	27
金融費用	△228	△265
税引前利益	1,478	1,255
法人所得税費用	△455	△452
当期利益	1,022	803
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,022	803
当期利益	1,022	803
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益（円）	77.84	60.22
希薄化後1株当たり当期利益（円）	76.44	59.53

（3）連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期利益	1,022	803
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△181	223
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△4	17
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△185	240
その他の包括利益合計	△185	240
当期包括利益	836	1,044
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	836	1,044
当期包括利益	836	1,044

（４）連結持分変動計算書

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の有効部分	新株 予約権
2024年7月1日残高	1,352	4,502	7,733	△0	526	—	56
当期利益	—	—	1,022	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△181	△4	—
当期包括利益合計	—	—	1,022	—	△181	△4	—
新株の発行（新株予約権の行使）	21	21	—	—	—	—	△11
剰余金の配当	—	△354	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	21	△333	—	△0	—	—	△11
2025年6月30日残高	1,373	4,168	8,755	△0	345	△4	44

（単位：百万円）

	その他の資 本の構成要 素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	合計		
2024年7月1日残高	582	14,170	14,170
当期利益	—	1,022	1,022
その他の包括利益	△185	△185	△185
当期包括利益合計	△185	836	836
新株の発行（新株予約権の行使）	△11	30	30
剰余金の配当	—	△354	△354
自己株式の取得	—	△0	△0
所有者との取引額合計	△11	△324	△324
2025年6月30日残高	385	14,683	14,683

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の有効部分	新株 予約権
2025年7月1日残高	1,373	4,168	8,755	△0	345	△4	44
当期利益	—	—	803	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	223	17	—
当期包括利益合計	—	—	803	—	223	17	—
新株の発行（新株予約権の行使）	108	108	—	—	—	—	△32
剰余金の配当	—	△461	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	108	△352	—	△0	—	—	△32
2026年6月30日残高	1,482	3,816	9,559	△0	569	12	11

（単位：百万円）

	その他の資 本の構成要 素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	合計		
2025年7月1日残高	385	14,683	14,683
当期利益	—	803	803
その他の包括利益	240	240	240
当期包括利益合計	240	1,044	1,044
新株の発行（新株予約権の行使）	△32	184	184
剰余金の配当	—	△461	△461
自己株式の取得	—	△0	△0
所有者との取引額合計	△32	△276	△276
2026年6月30日残高	593	15,450	15,450

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	1,478	1,255
減価償却費及び償却費	3,570	4,055
減損損失	5	11
金融収益	△21	△27
金融費用	228	265
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	86	18
棚卸資産の増減額 (△は増加)	109	21
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△12	24
未払費用の増減額 (△は減少)	△37	△19
その他	△189	134
小計	5,218	5,740
利息の受取額	5	7
利息の支払額	△217	△257
法人所得税の支払額	△706	△384
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,299	5,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,049	△1,323
無形資産の取得による支出	△135	△218
差入保証金の差入による支出	△225	△272
差入保証金の回収による収入	121	113
その他	△17	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,306	△1,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△600	—
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△800	△700
セール・アンド・リースバックによる収入	528	246
リース負債の返済による支出	△3,067	△3,406
新株予約権の行使による収入	30	184
配当金の支払額	△354	△461
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,263	△4,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	△159	165
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	569	△610
現金及び現金同等物の期首残高	4,701	5,271
現金及び現金同等物の期末残高	5,271	4,660

（6）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎としております。

当社グループは、ヘアカット専門店「QB HOUSE」並びに多様なニーズに合わせた業態である「QB PREMIUM」及び「FaSS」の店舗展開により、ヘアカットサービスを提供しており、国内事業と海外事業に区分して管理をしております。したがって、当社グループは「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

事業区分	主な事業内容	当該事業に含まれるブランド
国内事業	ヘアカットサービスを国内において直営及びFCで展開	QB HOUSE、QB PREMIUM、FaSS
海外事業	ヘアカットサービスを海外において直営で展開	QB HOUSE、QB PREMIUM

2. 報告セグメントの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は、以下のとおりであります。

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	20,634	4,908	25,543	—	25,543
セグメント間の内部売上収益	7	—	7	△7	—
計	20,641	4,908	25,550	△7	25,543
セグメント利益	1,529	156	1,685	△0	1,685
金融収益	—	—	—	—	21
金融費用	—	—	—	—	△228
税引前利益	—	—	—	—	1,478
その他の項目					
減価償却費及び償却費	2,377	1,193	3,570	—	3,570
減損損失	—	5	5	—	5

（注）1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	21,659	5,494	27,154	—	27,154
セグメント間の内部売上収 益	15	—	15	△15	—
計	21,675	5,494	27,169	△15	27,154
セグメント利益	1,437	56	1,493	0	1,493
金融収益	—	—	—	—	27
金融費用	—	—	—	—	△265
税引前利益	—	—	—	—	1,255
その他の項目					
減価償却費及び償却費	2,633	1,421	4,055	—	4,055
減損損失	—	11	11	—	11

（注） 1. セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	1,022	803
普通株式の期中平均株式数（株）	13,137,930	13,338,499
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加（株）	239,244	156,329
希薄化後普通株式の期中平均株式数（株）	13,377,174	13,494,828
基本的1株当たり当期利益（円）	77.84	60.22
希薄化後1株当たり当期利益（円）	76.44	59.53

（重要な後発事象）

該当事項はありません。